

## 【視覚障害クラスナビゲーターのあり方についての方針】

一般社団法人日本パラクライミング協会

共同代表 鈴木 直也

日本パラクライミング協会では視覚障害クラス（以降 B クラス）に選手とともに出場し、視覚的支援のみならずクライミング競技そのものにアドバイスを行うことの出来るナビゲーターの存在を重要視しています。ナビゲーターはその B クラスクライマーの最高のパフォーマンスを引き出すことの出来るパートナーで、時にその競技結果をも左右すると言える存在です。

基本的にナビゲーターは1選手1ナビゲーターとし、その選任は選手が責任を持ち行います。協会はそのナビゲート力強化を選手のクライミング力強化と同様に重要視し、支援していきます。

国内各大会への出場に際しては、選手登録を済ませたナビゲーターと共に申込をしていただきます。ナビゲーターについてはリザルトにもその氏名を反映するようにします。

協会は1選手1ナビゲーターを強く推奨しますが、事情により止む無くナビゲーターの選任、出場などが出来ず、他 B クラス選手とのナビゲーター共用（以降ナビシェア）、及び協会が用意するナビゲーターを利用することを認めます。

国際大会に日本代表選手として出場の際には、一人の B クラス選手に一人のナビゲーターでの出場をしていただきます。日常的に共にトレーニングを積み最も高いパフォーマンスが期待できるパートナーとの出場としてください。協会がナビゲーターを選任、派遣することはしません。また現地でのリスクを最大限避けるため、ナビシェアも認めません。

国内各大会においてナビゲーターを用意できない場合は、その理由を添えて選手本人より文書にて協会へ申し出てください。その際ナビシェアか、協会がナビゲーターを用意するかの希望も書き添えてください。

この場合、出場順を始めとする諸理由によりナビシェアが機能しない、また協会が用意したナビゲーターに関してなど、選手がナビゲーターを選任できなかった場合の不服申立ては一切受け付けません。